

Report from the EDGE Vol.40

2016.2.25

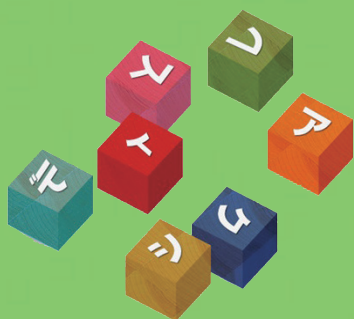
ディスレクシア (Dyslexia) とは……

知的には問題がなく、聴覚、視覚の知覚的機能は正常なのに、読み書きに関して特徴のあるつまづきや学習の困難を示す症状のことをいいます。

EDGE は…

ディスレクシアの正しい認識の普及と教育的な支援を目的とした

特定非営利活動法人 (NPO) として、2001 年 10 月に設立・認定され、活動しています。



学習支援員のいる教室

通常の学級の中の支援を必要とする子どもたちへ、ナチュラルサポートを！それが「学習支援員」です。

通常の学級でナチュラルサポートを Learning Support Assistant

藤堂 栄子 編著 本体 1800 円

ディスレクシアでも大丈夫！

●上野一彦先生序文
困難を乗り越える知恵と工夫、どのように能力が開花していくかが見事に示されている

読み書きの困難と「できる」な可能性

藤堂 栄子 著 本体 1600 円

図書出版 **ぶどう社**

東京都千代田区神田小川町3-5-4-905
TEL 03-5283-7544 FAX 03-3295-5211
http://www.budousha.co.jp 送料無料

読字や視覚に困難さのある子どもへの理解と支援

アーレンシンドローム

「色を通して読む」光の感受性障害の理解と対応

ヘレン・アーレン 著 / 熊谷恵子 監訳



A5判・224頁 定価 本体3,500円+税

「光の感受性障害 (症候群) (Scotopic Sensitivity Syndrome:SSS) と呼ばれるアーレンシンドローム。本書はわが国初のアーレンシンドロームの書籍。鑑別やアセスメント、支援・指導の方法を詳解する。LDなどの子どもを支援する教師や心理職、家族、その他の学習支援者待望の書。

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-3-7 **K 金子書房** ☎ 03-3941-0111 内 ☎ FAX 03-3941-0163 URL http://www.kanekoshobo.co.jp

アポーグループは NPO 法人 EDGE の活動を支援しています。

DXパートナーズになりませんか？



ディスレクシアの人たちが本来の力を発揮して暮らせる社会を一緒に作っていきましょう！エッジの活動を日本全国に広げるためには一人一人が伝道師、実践家となる必要があります。趣旨に賛同される方々のご協力をお願いします。

代表理事 藤堂 栄子

【入会方法】 WEBサイトからご入会いただけます。

【特典(仮)】 ①会員向けメルマガ ②セミナー割引 ③書籍割引
④年次報告書 ⑤動画配信(最新情報の解説) ⑥LSA講座割引

【会費】 3つのコースから選択してください

- ・月 500 円コース (会費のみ)
- ・月 1,000 円コース (会費+寄付金 500 円)
- ・月 2,500 円コース (会費+寄付金 2,000 円)



※本紙の本文はディスレクシアの方々がわかりやすく読みやすい丸ゴシック・12級以上の書体を使用しております

EDGE40号 2016年2月25日発行 / 発行 (仮)認定NPO法人エッジ
東京都港区芝3-6-5 第2佐山ビル / Tel.03-6435-0402 / http://www.npo-edge.jp / E-mail:edgewebinfo@npo-edge.jp / 制作 株式会社信英堂



アジア太平洋ディスレクシア・フェスティバル&シンポジウム2016

Asia Pacific Dyslexia Festival & Symposium 2016

～ダイバーシティ&アイデンティティ 理想の学校～
～ Diversity & Identity An Ideal School ~

アジア太平洋のディスレクシアがつながります
Asia Pacific Network of Dyslexics

日時 2016年6月11日(土)、12日(日)

Date 11th & 12th June, 2016

場所 横浜 神奈川県民ホール 小ホール・ギャラリー及び ワークピア
Venue Yokohama, Japan Kenmin Hall, Workpia, gallery

参加対象 アジア太平洋地域の教育やLDに興味のある方だったらどなたでも
Participants Anyone interested in education in Asia Pacific Area

言語 日本語・英語
Language Japanese/English (Interpretation)



横浜にシンガポール、インドネシア、マレーシア、ハワイ、ニュージーランドそして日本各地から素敵なディスレクシアな青年たちと専門家や教師が集まります。

シンポジウム

1. アジア・パシフィック地域のディスレクシア教育：最新動向
2. ディスレクシア児への英語指導の在り方
3. ディスレクシア児を主体とする理想の学校をつくろう

フェスティバル

パフォーマンス、ワークショップ、AT/ICT 機器展示、アートの展示も多彩に繰り広げられます。

詳しくは <http://www.npo-edge.jp/educate/apdf/>

活動 (2016年)

1月	11日	第15回ディスレクシアセミナー	2月	6日	第64回DX会
	17日	LSA講座 (川崎)		14日	LSA講座 (港区)
	20日	第3回夜間DX会		28日	総会/記念シンポジウム
1月28日~2月3日	マッケンジー・ソープ絵画展 (東急百貨店吉祥寺店他)		3月	2日	第4回夜間DX会
	28日	キッズ&ティーンズ (英語ワークショップ)			

新理事紹介

2/28の総会で新しい理事が選出されました。全体的に若返り、男性の比率が高くなりました。

池本修悟さん

NPO 法人創造支援工房フェイス 代表理事
慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員
嘉悦大学非常勤講師



みなと NPO ハウス時代に入居者協議会で一緒にいた EDGE の一員になれたことをとても嬉しく思っています。現在、課題に直面している人たちが当事者同士で力を合わせて課題解決に取り組むための戦略作りの支援を行っており、ディスレクシアの理解を広めるために頑張りたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

三橋宏之さん

不動産賃貸管理業 自営業

以前、港区の学習支援員に就いた事がきっかけでエッジと関わる事になりました。

次のステップに歩みを進めるエッジの力に少しでもなりたいたいと思っております。宜しくお願い致します。

辛島育代さん

看護師、産業カウンセラー、スマイルクラブ代表

私にお役に立てることがあるのか、一抹の不安を抱きつつ理事という大役を受けさせていただきました。高校1年生の息子が「広汎性発達障害」「書字の苦手さ」という特性を持っています。私が息子を受容するきっかけとなり、子育てに対する自信を持たせてくれたのが LS A 養成講座でした。5年前、不安や悩みを抱えながら受講していた私が、今は運営する立場となり感慨深いものがあります。



西崎伸彦さん

ハートフルデイ株式会社代表取締役、
東京都中学校 PTA 協議会総務理事

ディスレクシアや発達に課題のある児童がその特性を伸ばしつつ、強いスキルと共生社会の一員としての人と関わる力の獲得と、地域における情報交流の場をつくること、ならびに保護者の資質向上に貢献できればと考えています。



総会をもって、堀口順子さん、山根真知子さん、吉田優英さんはご退任されました。長い間、ありがとうございました。

DX会は参加者の自主運営へ

昨年、9月から夜間 DX 会が開催され、いよいよ月一時代に突入しました。偶数月に行われている従来の DX 会は土日の午後、毎回リーダーが責任を持ち、着実に会の運営ができるようになりました。2015/12/5(土)、第63回「成人ディスレクシアの人々と語ろう」、2/6(土)、第64回「科学博物館を探索しよう」の企画は参加者がリーダーに従い、無事に終了しました。夜間 DX 会は帰宅途中にフラリと寄れる、成人ディスレクシアの止まり木になってきました。1/20(水)、第3回夜間 DX 会は「DXの体験談と対応策」でした。それぞれの会、5

～10人の参加者がありました。毎回新参加者が加わり、新しい刺激があります。DX 会も11年目になり、ますます充実してきました。



「支援員養成講座」宮崎会場

▶各地の LSA 活動(宮崎) 第2回/全3回

スマイルクラブ 辛島 育代

今年の4月には「障害者差別解消法」が施行されます、LSAのニーズも認知度もますます高まる事が期待されます。

宮崎会場の発展コースは、昨年8月にスタートし順調に開講を重ね12月に5回目を終わりました。25名の受講生の皆様は熱心でモチベーションが高く、レポートの視点も鋭く、スタッフも身が引き締まる思いで運営しています。

年明けの初講座は、1月23日・27日・30日に小学校・児童クラブの見学実習を予定しており、受講生はいずれか1日に参加します。授業参観や先生方との情報交換の時間もあり、より実践的な学びとなることでしょう。宮崎市教育委員会、生涯学習課、社会福祉協議会の御協力に深く感謝いたします。子ども達への支援と同様に、宮崎のLSA養成講座も多くの関係機関の助けをお借りして良いものにしていきたく思います。

簡単なディスレクシアテスト

子ども用にディスレクシアテストがありました。エッジのフェイスブックで紹介したところ、アクセス数が多く、評判でした。「読字」と「書字」で、①心理的不安②読むスピード③読む様子④仮名の誤り⑤漢字の誤りの5項目で簡単にどの程度か、ディスレクシアチェックができます。この読み書きのチェックリストは稲垣真澄「特異的発達障害のためのガイドラインーわかりやすい診断手帳と支援実践ー」診断と治療社2010年の「読み書きチェック表」から引用しています。



▼2012 特別支援教育デザイン研究会、教材名『得意・不得意から入る特別支援教育教材』

<http://www.e-kokoro.ne.jp/ss/tokui/data/pages/otona-checklist.html>

昨年12/5の第63回DX会でも、簡単なイギリスで作られたディスレクシアテストを参加者全員で受けてみました。ディスレクシアの人々は点数が高く。そうでない人々は点数が低く出ました。

音声教材 BEAM

BEAM(音声化した教科書)内容が分かるようになったと評判です。無償配布しています。

現在使用可能な教科書

▼小学校 国語(光村、東京書籍、但し教育出版は小4年のみ)
社会(東京書籍、教育出版)

▼中学校 国語(光村)
地理、歴史、公民(東京書籍)
地理、歴史(教育出版)

▼高校 生物基礎(東京書籍)

★新規アップロード 小学校下巻鋭意アップ中

★平成28年度利用申し込み受け付け中

<http://www.npo-edge.jp/work/audio-materials/>

